

私たちも消防団員



「地域との繋がり、これからも…」

荻窪消防団 大場 昌寛 団員
大学院生

私が消防団に入団したのは、阪神・淡路大震災のドキュメンタリー番組がきっかけでした。少しでも防災に関する知識や技術を身につけて地域の役に立ちたいと思い、消防署に問い合わせをしました。消防団員となって特に良かったことは、それまでの生活では関わることのなかった地域の方と交流を持つことができたことでした。

消防団活動を通して視野が広がり、コミュニケーション能力も向上したと思います。震災による被害が危惧される中、より一層地域に精通し、知識や技術を身につけてこれからも消防団員としての責任を果たしていきたいです。

会社員、自営業者、学生、主婦など、さまざまな人が活動しています。



「地域の安心・安全のために」

本所消防団 小峰 愛里 団員
大学生

私が消防団への入団を決めたきっかけは、目標である救急救命士へのあこがれと祖父と父が消防団員だったからです。消防団活動を通して、上級救命講習の資格取得や他の団員・地域の人達との繋がりを持つことができました。

入団して2年。まだ経験と力が足りませんが、これからも積極的に消防団活動に参加し、いろいろなことを経験していきたいと思っています。いつ、地震や火災が起こっても率先して行動できるよう先輩団員と一緒に頑張っていきたいと思っています。

勤務する地域の防災に貢献

事業所消防団員

地域防災のために事業所のみなさまのご理解とご協力を

特別区の消防団員の職業構成は、事業所に勤務しながら消防団活動に従事している方々がおよそ半数を占めています。仕事と消防団活動を両立させることは、団員本人の努力はもとより、雇用する事業所の理解と協力も欠かせません。



消防団協力事業所表示証を交付し、企業の社会貢献を評価



企業の社会貢献の評価において、消防団活動に従事する社員を奨励・支援する事業所に対し「消防団協力事業所表示証」を交付し、ホームページ等において地域防災に貢献する事業所として広報できるようになっています。さらに、事業所に勤務する方が消防団員になることは、災害時における早期対応など事業所のBCP(事業継続計画)の向上に繋がることが期待できます。

お問合せは最寄りの消防署・消防団本部まで



自分の住むこの街を
自分の手で守りたい

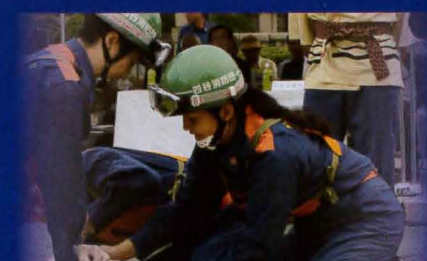
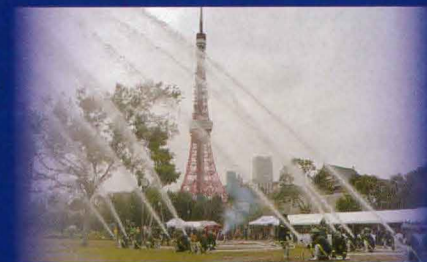
首都東京を守る 消防団

消防団員 募集



[入団資格] 18才以上の健康な方

大地震などの災害時、地域の要として活動するのが消防団です。



ふだんの暮らしは多様でも 想いはひとつ 「わがまちを災害から守りたい」



消防団員は、仕事や学業、家事などに従事しながら「わがまちを災害から守る」という使命感のもと、地域防災の要として幅広い活動を行っています。

特に地域の皆さんとのふれあいを大切に活動は、災害に強い安全な街づくりの実現に欠かせないものです。万一の災害に備えて活動する「消防団」は街と住民を守るもっとも身近な防災機関です。

消防団の任務

平常時

- 火災から住民を守るための火災予防や広報活動
- 地域のまつりなどの警戒
- 地域の防災行動力を高めるための初期消火や応急救護などの指導

災害時

- 消防署と連携した消火活動
- 住民の救助、救護活動や避難誘導
- 逃げ遅れ者等の情報収集
- 現場での広報及び鎮火後の警戒活動

消防団の活動

地域と連係した活動

火災予防運動、防災週間や地域の催し物が行われるときに、災害を未然に防止するため火災予防の呼びかけや警戒活動を行っています。



地域の防災行動力を高める活動

大地震発生時には、多くの災害や負傷者の発生が予測されます。消防団員は住民一人ひとりの防災行動力を高めるため、出火防止、初期消火、応急救護などの指導を行っています。



災害活動

火災、地震、台風などの災害は時と場所を選ばず私たちに襲います。災害が発生した場合には、消防署と一体となって、迅速に消火活動などを行い、街と住民を守るのが消防団の大きな役割です。



普段からの教育・訓練

災害活動には、専門的な知識と技術が必要です。消火訓練や救助、救護訓練を行い、消防団の災害活動力を高めています。



消防団の主な行事

1月 消防団始式



消防団の出初式として、地域の皆さんに年頭の決意を表明します。また、団員に対して訓示や表彰等を行い、士気を高めます。

5月～6月 消防操法大会



各消防団において、日頃の訓練成果を可搬式ポンプ操法等により競い合います。優勝したチームは、各支部の代表として東京都消防操法大会（10月実施）に出場します。

9月～11月 消防団点検



各消防団の災害活動技術や、士気、規律の状況を消防総監が確認します。日頃の訓練状況、震災を想定した消火・救助活動の技術を披露します。

その他、様々な知識、技術を習得するため、教育訓練、研修及び応急手当講習等に参加し自己啓発を行っています。

入団後の待遇

消防団員は公務員です。ただし、非常勤であるため特別職の地方公務員となります。災害活動においては公的な活動を行うことから消防団員となすべきこと、守らなければならないことなどが条例、規則等で定められています。

1 報酬などの支給

年間一定の金額が報酬として支給されるとともに、災害や訓練に出場した場合に手当が支給されます。また、5年以上勤務し退団した場合には退職報償金が支給されます。

2 公務災害補償

消防団員が安心して活動できるよう、公務上負傷等した場合は、補償制度があります。

3 被服等の給貸与

活動に必要な活動服や活動靴などが各個人に給貸与されます。

4 表彰制度

職務にあたって功労・功績があった場合は、消防総監をはじめ、各種機関より表彰されます。

消防団の施設・装備

消防団が効果的な災害活動を行うため、消防団本部や分団施設、可搬ポンプなどの資機材、防火衣などの装備を整備しています。



消防団本部
災害時には消防署隊と連携し消防団の活動を把握し指揮・統制を行い、平常時には、消防団の運営・管理のため幹部会議などを行います。



分団本部施設
各種警戒や災害時の活動拠点となり、可搬ポンプ積載車や分団に配置された資機材等を格納します。各分団に1棟整備しています。



可搬ポンプ
可搬ポンプは水を吸い上げ水圧を発生させます。消火活動に使用するほか、高所又は遠方へ送水するために使用します。



可搬ポンプ積載車
この車両は、消防団員が災害現場に急行したり各種警戒や広報活動等を行うときに使用します。